

【淡輪幼稚園のあり方に関するご意見結果及び町の考え方について】

1. アンケート調査の概要

■アンケート調査目的

町立淡輪幼稚園においては、少子化に加え、共働き家庭の増加等や核家族化の進行に伴う保育施設を希望する家庭の増加等により、入園児が著しく減少していることから、今後の町立淡輪幼稚園のあり方について検討を行うため、皆様から寄せられたご意見を取りまとめたものです。

■アンケート方法及び概要

調査対象	町内各戸配布（6,060件）、ホームページ、公式ラインを活用し、幅広いの住民の皆様
調査方法	ロゴフォーム、窓口ボックス（役場）
調査期間	令和5年2月10日～令和5年3月8日（17日間）
アンケート内容	今後の町立淡輪幼稚園のあり方についてのご意見

■回答結果

各戸配布数	回答件数（212件）		回答率 （各戸配布基準）
	ロゴフォーム	窓口	
6,060件	187件	25件	3.5%

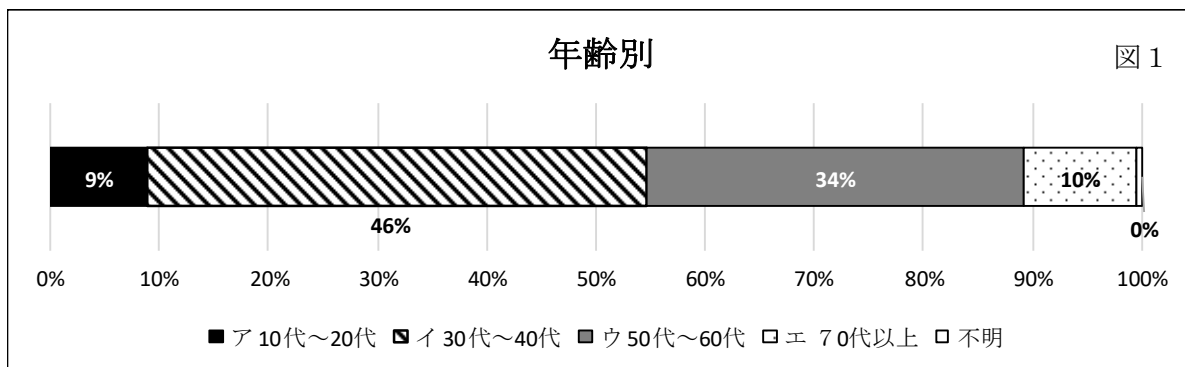
淡輪幼稚園のあり方を考えるにあたり、212件のご意見をいただきました。多くのご意見を頂きありがとうございました。

皆さまから寄せられたご意見では、①存続（子ども園含む）・②休園若しくは廃園・④その他のカテゴリーに分類し、最後に町の考え方を説明させていただきます。

2. 調査の結果

①あなたの年齢を教えてください。

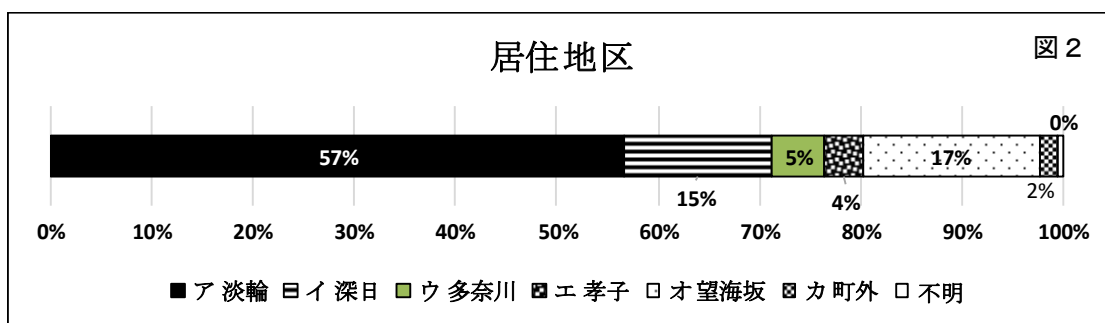
30代～40代が46%と最も多く、次いで50代～60代の34%となっています。一方、10代～20代が9%と最も低く、次いで70代以上となっています。



ア 10代～20代	イ 30代～40代	ウ 50代～60代	エ 70代以上	不明
19人	97人	73人	22人	1人

②あなたのお住まいの地区はどちらですか。

淡輪57%が最も多く、次いで望海坂の17%と淡輪地域が7割を超えています。一方孝子が4%と最も低く、次いで多奈川の5%をなっています。

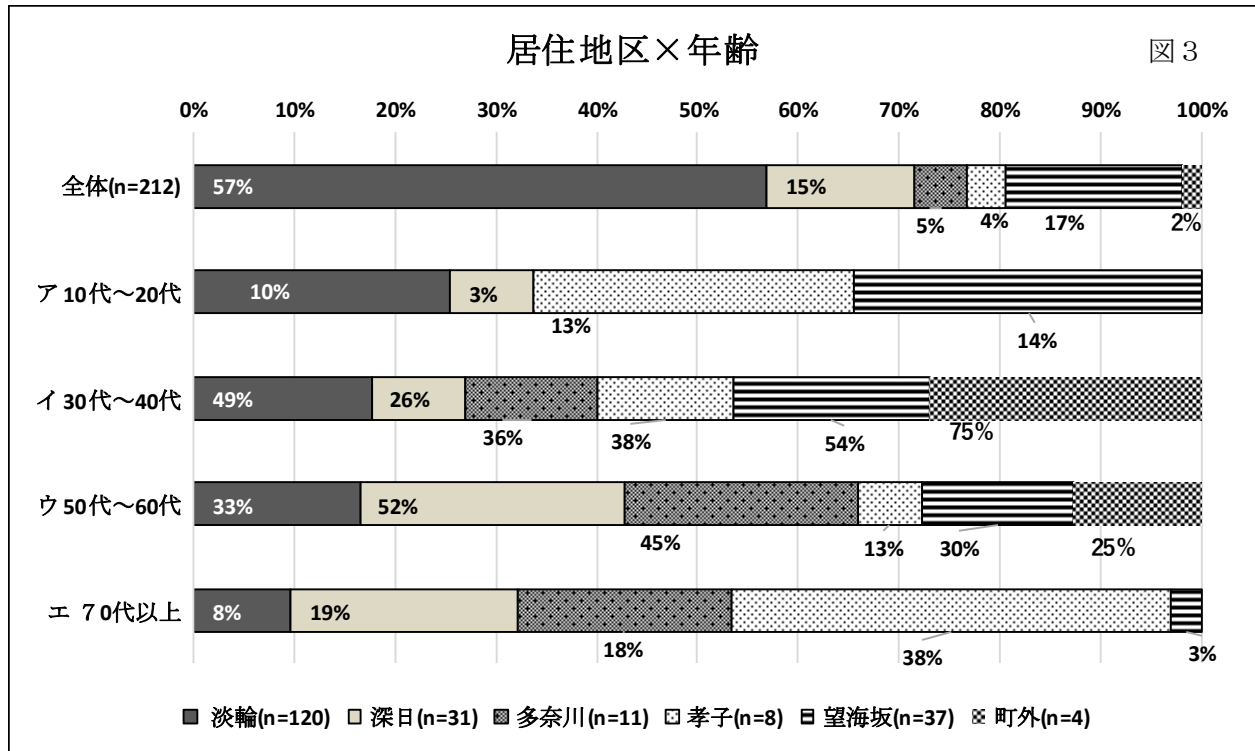


ア 淡輪	イ 深日	ウ 多奈川	エ 孝子	オ 望海坂	カ 町外	不明
120人	31人	11人	8人	37人	4人	1人

居住地区について年齢別にみると、地区内に幼稚園がある淡輪地区及び望海坂では「30代～40代」のご意見が最も多く、利用する子育て世代に関心があると推測される。

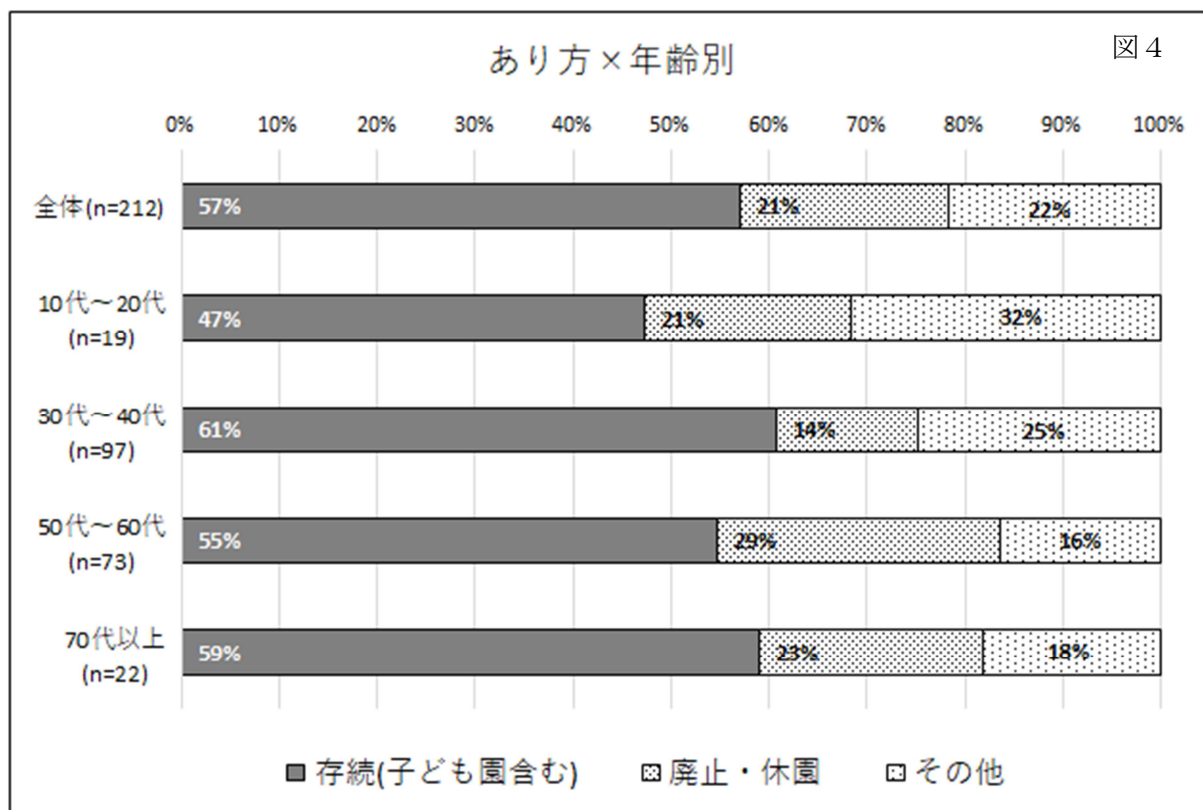
深日地区、多奈川地区については、「30代～40代」よりも「50代～60代」のご意見が最も多く、孝子地区については「30代～40代」と「70代以上」双方の比率が最も高い。

全体的に3世代世帯が公立幼稚園のあり方について、関心があると推測される。



3. 今後の淡輪幼稚園のあり方について

■年齢別のクロス集計分析にあたっては、回答数や各世代の特徴を踏まえ、以下のとおり集約いたしました。



- ・どの年代も「存続(子ども園含む)」の回答が多く、特に30代以上の年代では、全体の半数を占めています。
- ・「廃止・休園」の意見では、50代60代の方の回答が29%となっています。
- ・「その他」の意見については、10代~40代の方が2割を超えています。子育て世代の方々が、幼稚園のあり方について、さまざまな意見があり、具体的な方法についても考察されていることから、今後の幼稚園のあり方について興味をしめしていることが伺えます。

■カテゴリーに分類した内容は以下のとおりです。

①存続（子ども園含む）の意見

- ・子どもたちの成長のために。
- ・これから移住を考えている若年層のために。
- ・友達もできて、親子で素晴らしい縁に恵まれたと思うので、なくなってしまうのは嫌だ。
- ・公立のゆったりとした雰囲気が好き。
- ・私立は私立で、公立は公立の良さがある。
- ・保育所と違うシステムを持つ幼稚園は多様性の尊重がとめられる昨今においては必要。
- ・益々過疎化を進む可能性がある。
- ・抜本的に改革して誰もが入れる公立の幼稚園を作ってください。
- ・子どもが大きくなってから、働こうを思っているお母さんにとって、必要な施設。
- ・淡輪幼稚園と保育所を一体化し、町の財政を切り詰めるべき。
- ・保育所は先生が足りなく、幼稚園は先生が余っている。
- ・子どもを預かる時間が長くなる

存続とご意見した中では、10代～40代の子育て世代の方が最も多く（※図4）「公立」の良さを求められ、公立幼稚園の必要性が望まれる。また、共働きでも入園しやすいような施設の希望が多く、子どもの預かる時間を長くしてほしい等、また、幼稚園、保育所のそれぞれの良いところを活かした施設を望んでいる。

②休園及び廃園の意見

- ・公立幼稚園の優位性が失われている。
- ・新入園児が少なくなるから。
- ・財政難で継続する意味がない。
- ・お母さんが働ける幼稚園にしなければ無理。
- ・私立幼稚園が町内に2箇所あるから。
- ・施設の老朽化。
- ・魅力がない。

廃園・休園とご意見のあった中で、子育て世代の10代～40代の方は、今の公立幼稚園は、利用するには魅力がない等のご意見があり、保護者のニーズにあった公立幼稚園として、利便性の良い施設を望まれている。

④その他（今後の淡輪幼稚園に対する要望）

- ・インターナショナルのような施設にすれば、町外から希望者が来るのでは。
- ・どのような教育をしているのか公に提示する。
- ・淡輪小学校と連携し、放課後学童に預ける。
- ・保育所の入園規定を厳しくする。
- ・幼稚園、保育園、小学校を早期に統合すべき。
- ・他の幼稚園に負けない魅力ある特色を。
- ・人口を増やす方策を考えるべき。
- ・幼稚園を二つ目の保育園にしてほしい。
- ・子どもたちが行きたがるような環境を作ってほしい。

4. 町としての考え方

■今回の調査で、様々のご意見を頂き、ありがとうございました。淡輪幼稚園は、創立67年と長い歴史の中で、本町の幼児教育の核として運営してきました。幼児期の教育は、小学校の「準備」でなく、「土台」であることを念頭に、公立幼稚園の良さを踏まえ新たな魅力ある幼稚園に向けて、皆さまのご意見を参考に保育時間や保育内容等を見つめ直し、淡輪幼稚園のあり方検討委員会で、新たな幼稚園運営に向け検討していきます。